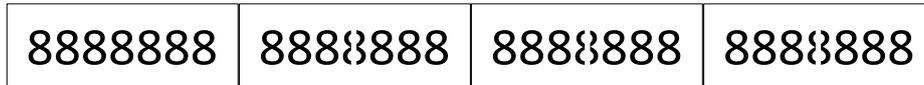


白線抜けについて

サーマルヘッド方式のマーカ機で、マーキングした場合、文字のセンターに白い線が入ったように印字される事があります。



この現象を**白線抜け**と呼んでいます。

原因は、マーキングマシンがチューブを一時停止させて、カットを行うために印字部(ヘッド)でのチューブの収縮が影響して、白線抜けが発生します。

SP1000以降の機種につきましては、**白線防止機能**により、白線抜けは発生しなくなりましたが文字の端で停止した場合、**線幅が太くなる**



あるいは、**髭がついた**印字文字になります



回避方法は

カット一時停止時にヘッド位置が、文字の端ではなく、文字間(スペース)にくるようにテーブル値を変更します

1. 文字間のピッチを現状より大きく設定する **※統合データ Win書体指定の場合変更不可**
2. カット仔を変更する
3. 送り補正の数値を現状値に対して、0.3~0.6プラスする

なお、**最近同不具合が発生した場合は、ドライブローラー(搬送)の滑りが原因と考えられます。**従って

1. **ドライブローラーのクリーニング**
2. **ドライブローラーの交換**

をおすすめします。